

中野市行政改革推進委員会 会議録

日 時	平成29年 3 月21 日（火） 14：00～14：53
会 場	市役所本庁舎 31・32号会議室
出席者	【委員】 田中潔、宮澤厚子、山口和彦、下田正人、東英司、小林日出夫、北原新一、塩川伸一、小高恵利子 【市】 副市長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、建設水道部長、消防部長、豊田支所長、会計管理者、教育次長、議会事務局長 【事務局】 政策情報課長、行政管理係長、市川副主幹、矢野主事、青木主査
欠席者	小山むつ子、岡村郁子、小林千枝、市村義明
次第	1 開会（13名中 9 名出席、過半数の出席者有りのため会議成立） 2 副市長あいさつ 3 会長、副会長の互選について 4 会議事項 （1）第 3 次中野市行政改革集中改革プランのプラン名変更及び追加について （2）第 3 次中野市行政改革集中改革プラン（平成29年度目標設定）について （3）中野市公共施設最適化計画（案）について 5 その他 6 閉会
資料	資料 1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿 資料 2 プラン名の変更及び追加 資料 3 第 3 次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シート（平成29年度目標設定） 資料 4 中野市公共施設最適化計画（案） 資料 5 今後の対応、スケジュール

1 開会 （総務部長）

2 副市長あいさつ

3 会長、副会長の互選について （仮議長：副市長）

会長に中野市区長会の下田委員、副会長に中野市ボランティア協議会の田中委員が互選される。

4 会議事項 （議長：会長）

- (1) 第3次中野市行政改革集中改革プランのプラン名変更及び追加について
- (2) 第3次中野市行政改革集中改革プラン（平成29年度目標設定）について
- (3) 中野市公共施設最適化計画（案）について

【会長】

それでは、会議事項(1)「第3次中野市行政改革集中改革プランのプラン名変更及び追加について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（資料2を説明）

【会長】

ただいまの事務局の説明について、ご質問、ご意見等ございますか。

（特になし）

無いようですので、次に移ります。

会議事項(2)「第3次中野市行政改革集中改革プラン（平成29年度目標設定）について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（資料3を説明）

※平成29年度にプラン完了となる予定の事項を中心に説明

【会長】

ただいまの事務局の説明について、ご質問、ご意見等ございますか。

（特になし）

無いようですので、次に移ります。

会議事項(3)「中野市公共施設最適化計画（案）について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料4を説明)

【会長】

ただいまの事務局の説明について、ご質問、ご意見等ございますか。

【委員】

縮減目標について、総量の何%と記載されているが、それぞれの配分はどのように決定されたのか。

【政策情報課長】

配分という考えで決めたわけではなく、縮減目標の記載の次に今後の方向性ということで、廃止、譲渡、転用などの方向性を出している施設と、今後に施設の在り方を引き続き検討することとしている施設をそれぞれ考慮し、分類毎に縮減目標を設定している。

【委員】

各施設の耐震性について、「有」「無」「未了」の説明をお願いしたい。

【政策情報課長】

「有」「無」は耐震性の有無を示している。「未了」については、耐震診断を実施していない施設である。

【委員】

資料P9記載の施設を例として、耐震診断を実施していない豊田人権センターは「未了」、市民会館は耐震性が無いということか。

【くらしと文化部長】

市民会館の耐震性能「無」としているのは、耐震診断を実施した結果、現在の建築基準上求められている耐震性能を持っていないということである。

【委員】

意欲的な計画を立てられていると感じている。しかし、縮減目標の20%というのはマクロ的過ぎて説得力があるのかなと感じる。資料の最後に計画の推進体制について、PDCAサイクルの本質は、何時、誰が、何を、どんなやり方で進めるのかがPDCAであって、これだけのアイテムを全部消化していくには、具体的にどんな体制で進めるのかを明確にされた方が良いと思う。

この計画の最も重要な部分が、計画最後の推進体制だと考える。

【会長】

意見として頂戴いたします。

【委員】

平成29年1月6日期限で、集中改革プランについての意見募集を実施された。本日の委員会で説明があるのかと思っていたが、どうなのか。

【政策情報課長】

1月6日期限で意見募集したものは、平成28年度の間点検に対し意見をお聞きした。通常は、11月頃に委員会を開催し意見協議を行っていたが、公共施設最適化計画の事情もあり、委員会は開催せず紙面での意見募集とさせていただいた経過である。

【委員】

行政改革は人口減少や施設の老朽化など、縮減されるのは理解できるが、古いから、使われていないからなどの理由かと思うが、それぞれの施設には意味合いがあつて、歴史があるわけで、その辺の検証をしていかなければいけないと思う。市街地の方がいいが、周辺部は公共施設が地域の拠点みたいなものもあるが、その辺の検討はどうか。

【政策情報課長】

公共施設には意味合いや歴史があり、その辺も考慮する必要もあると考えている。「検討継続」としている施設の中でも、地域の拠点となっているもの、利用者の方や受益を受けている方もいられるので、丁寧に説明をしながら進めたいと考えている。ただし、「検討継続」としている施設の延床面積で54,300㎡余あり、縮減目標を達成するためには約半分くらいの面積を縮減していきたい。関係者と丁寧な議論をしながら、将来に向けて必要な行政サービスを継続させるという意味から進めているのでご理解いただきたい。

【委員】

これから小中学校統廃合で学校が空いてくる。避難所などの検討は必要となるかと思うが、残った建物は縮減目標にどう影響してくるのか。

【政策情報課長】

民間事業者に売買となれば、市の施設ではないので面積からは縮減されていく。市の施設である限り残っていく。

5 その他（資料5で説明）

- ・第3次中野市行政改革集中改革プラン（平成29年度目標設定）については、新年度より実行していく。
- ・公共施設最適化計画（案）は4月10日までパブリックコメントを実施している。
- ・次回の委員会は4月19日(水)午後4時に開催し、公共施設最適化計画の審議をお願いしたいと考えている。

6 閉会

終了 14時53分